

2026年10月30日

各 位

会 社 名 株式会社JVCケンウッド
 代表者名 代表取締役
 会長執行役員 最高経営責任者 (CEO)
 江口 祥一郎
 (コード番号6632 東証プライム市場)
 問合せ先 経営企画部長
 坂口 淳
 (TEL 045-444-5232)

2027年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2027年3月期通期連結業績予想を修正することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2027年3月期通期連結業績予想の修正 (2026年4月1日から2027年3月31日まで) (単位：百万円)

	売上収益	事業利益*	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A) (2026年5月1日発表)	364,000	23,400	20,600	21,000	15,000	円 銭 106 13
今回修正予想 (B) (2026年10月30日発表)	376,000	22,300	19,500	19,700	14,700	円 銭 105 24
増 減 額 (B-A)	+12,000	△1,100	△1,100	△1,300	△300	
増 減 率 (%)	+3.3	△4.7	△5.3	△6.2	△2.0	
参考：前期実績 (2026年3月期)	356,865	20,880	20,540	21,660	16,787	円 銭 115 21

※売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除することにより算出され、主として一時的な要因からなるその他の収益、その他の費用、為替差損益などを含まない。

2. 修正の理由

上期において、モビリティ&テレマティクスサービス分野の国内用品事業で前期末から新規導入した製品の販売が増加したこと、ならびにエンタテインメント ソリューションズ分野のエンタテインメント事業で音楽配信などのコンテンツ販売が想定以上に好調に推移したことから、両分野は通期において期初予想を上回る見込みとなりました。

一方で、上期のセーフティ&セキュリティ分野（以下、「S&S分野」）の無線システム事業では、北米公共安全市場において主要販売先である地方自治体の予算執行の見直しなどが顕在化し、見込み案件の凍結や新規受注の停滞による影響を受けました。これらの影響によって下期も想定を下回る見通しとなり、S&S分野は通期で期初予想を下回る見込みとなりました。

なお、当期は米国IEEPA（国際緊急経済権限法 International Emergency Economic Powers Act）関税の還付によって、通期で売上原価の減額などとして事業利益に約45億円、金融収益として税引前利益に約2億円の計上を織り込んでおります。

これらの状況を踏まえ、2026年5月1日に公表した2027年3月期通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。なお、分野別通期業績予想は次頁のとおりです。

参考：分野別通期業績予想

(単位：億円)

		2027年3月期 前回発表予想 (A) (2026年5月1日)	2027年3月期 今回修正予想 (B) (2026年10月30日)	増減額 (B-A)	参考：前期実績 (2026年3月期)
S & S 分 野	売上収益	1,050	900	△150	947
	事業利益	156	94	△62	127
M & T 分 野	売上収益	1,980	2,200	+220	1,957
	事業利益	55	74	+19	54
E S 分 野	売上収益	540	580	+40	568
	事業利益	23	55	+32	25
そ の 他	売上収益	70	80	+10	96
	事業利益	0	0	±0	2
合 計	売上収益	3,640	3,760	+120	3,569
	事業利益	234	223	△11	209

※S&S分野：セーフティ&セキュリティ分野、M&T分野：モビリティ&テレマティクスサービス分野、

ES分野：エンタテインメント ソリューションズ分野

以上

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。